
貧酸素情報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成30年10月22日(月)

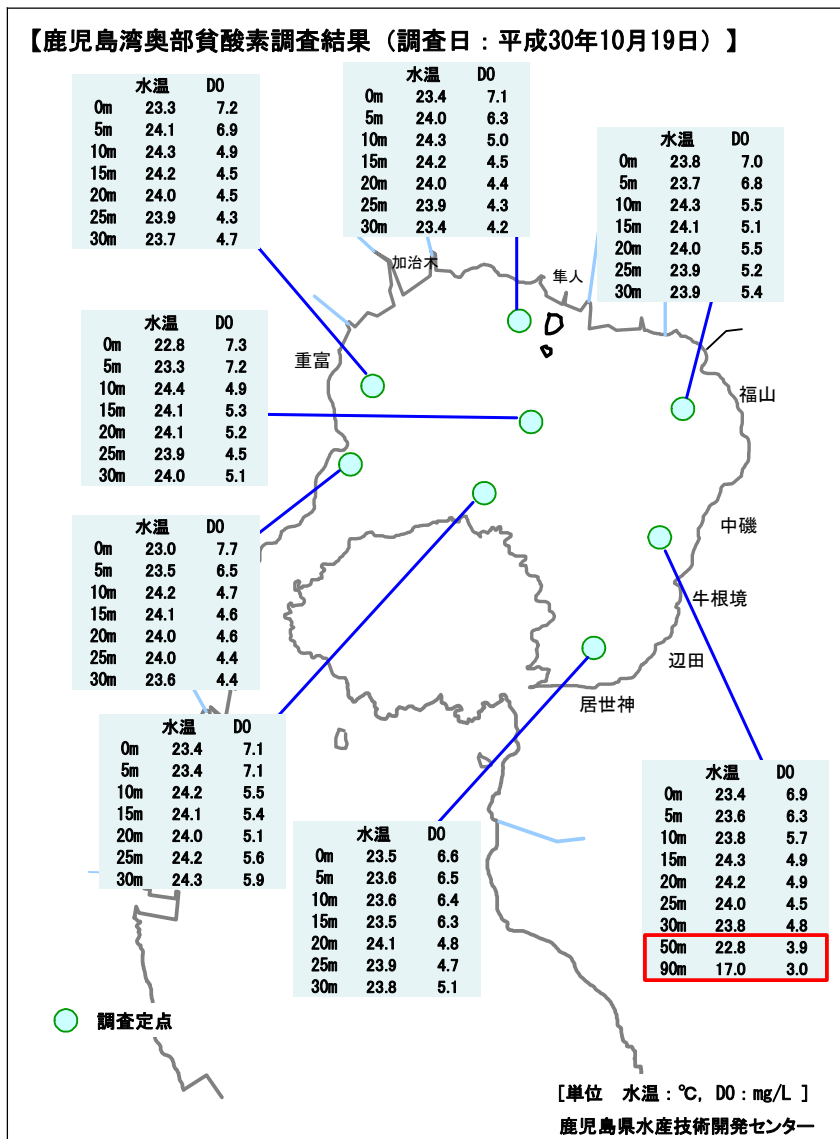
鹿児島湾 貧酸素情報 No.2

[1] 10月19日の調査結果

- (1) 貧酸素水塊の状況
 30m以浅において4.0mg/Lを下回る貧酸素水塊は確認されませんでした。
- (2) 赤潮生物の出現状況
 通常検鏡で有害種であるシャットネラ マリーナが重富沖、隼人沖、湾奥中央で各1細胞/mL確認されました
- (3) 海況
 表層水温は22.8~23.8℃(平均23.3℃)、塩分は31.4~32.2(平均31.9)、透明度は5.0~6.5m(平均5.7m)でした。

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

湾奥の30m以浅で貧酸素水塊は確認されませんでした。10月下旬までは、中層付近で貧酸素水塊が発生する可能性があるため、注意が必要です。



(注意事項)

- ・給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- ・過去、溶存酸素量が4.0mg/Lを下回った状況での給餌で、へい死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- ・給餌の前に、溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌は避けましょう。

赤潮情報(携帯電話): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

